

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果						ABCD評価		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	必要性	補足
巡回・窓口相談指導事業	経営基盤の弱い小規模事業者を中心に、経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し、事業資金融資等の金融相談、決算・確定申告の相談指導、労働保険等の相談指導、情報化支援相談、経営安定のための共済制度の促進など経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業実績568事業所 ・巡回窓口指導延件数1617件（うち創業支援2事業所26件） （うち非会員42事業所63件） ・課題解決提案件数24件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 95.1%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 80.0%)	総合評価	A	実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	販路拡大の支援や補助金申請にかかる事業計画策定などの専門的な相談が増加してきている。一つの事業所の課題に深く関与する時間が長くなってきている。今後も気軽に相談できる類々の支援機関となるように努める。	
記帳継続指導	記帳指導職員を中心に商工会の職員が、個人事業主を対象に正しい記帳方法や決算・申告の指導を行い、適正な税務申告と経理処理による経営力の向上に結びつけていく。	・指導対象者数 67人 ・指導延日数 626日 ・指導回数 700回	小規模事業者	指標	指導延回数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	総合評価	A	実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	税務署と連携し、記帳継続指導会のパンフレットを設置するなどし、新規開業者及び初めて青色申告を行うような事業者を中心に記帳継続指導会及び記帳機械化の対象者の募集を積極的に行っていく。	
講習会	経営に関する様々な問題解決に対応するため、小規模事業者にとって必要な知識を習得することで、事業者の資質向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 集団 7回 102人 個別 22回 113人 計 29回 215人	小規模事業者	指標	講習会等受講者数 (達成度 119.4%)	指標	(達成度 %)	総合評価	A	実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	個別講習会の参加者数を実情に合わせて、目標値を見直す。	
事業計画策定支援	経営に不安を抱えている小規模事業者や、事業の拡大を希望する意欲ある小規模事業者の掘り起こしを行い、事業計画策定の重要性を理解して頂くと共に、実現性の高い経営計画策定に繋げる。	講習会開催回数及び受講者数 個別 12回 36人	小規模事業者	指標	講習会等受講者数 (達成度 240.0%)	指標	(達成度 %)	総合評価	A	実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	今後も経営計画作成の講習会を行っていき、実際に経営計画作成につなげていく。	
調査・広報事業	中小・小規模事業者関連の施策に反映するために、経営実態・地域景気動向・消費者動向などを把握する調査事業を実施する。	「売上高」、「経営状況」、「資金繰り」、「設備投資」の4期を比較した結果、各項目は現状維持の回答が一番多い結果となった。今後の見通しについても変わらないとの回答が最も多かった。増加傾向の回答もあったが、減少傾向の回答数が2割目に多くやはり厳しい状況にある。	小規模事業者	指標	回答回収件数 (達成度 84.0%)	指標	(達成度 %)	総合評価	B	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	今後も地域経済の動向を把握するために継続的に実施する。	
福利厚生事業	①定期健康診断・生活習慣病検査の実施 定期健康診断・生活習慣病検査の実施が、労働基準法・労働安全衛生法などにより義務付けられている。そうした中、特定健康診断・特定健康診断も導入され、事業主の従業員に対する健康管理責任が重くなってきている。商工会として各事業所の一助としてこの事業を実施するものである。 ②小規模企業者相互の交流と従業員間の交流を図り、雇用の持続的な安定と企業の健全な育成に資することを目的とする。	①検診日：10月28日～11月1日の5日間、11月5日～8日の4日間。計9日間で実施。合計344名受診 検査項目 1) 定期健康診断：一般健診、胸部レントゲン、尿検査、心電図検査、血液検査等 2) 生活習慣病検査：胃腸診、眼底検査、追加検査：肝臓検査、腎臓、痛風など ②会員交流親睦旅行 49名	小規模事業者	指標	健康診断受診者数 (達成度 86.0%)	指標	参加人数 (達成度 61.3%)	総合評価	B	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	①一人でも多くの従業員が受診できるように開催日や時間を工夫して（午前中開催日）を減らすなど今後も継続して開催する。 ②アンケートの結果をもとに参加者により満足していただける事業としたい。また、他団体の先行等が被らないよう注意して実施したい。	
労働保険事業	労働保険の各種手続きから保険料の申告・納付等、労働保険に関する煩わしい作業を、事業主の委託を受けて事務代行を行う。	委託事業所数144件 7・11・2月の3回に分けて保険料を納付した。	小規模事業者	指標	委託事業者数 (達成度 99.3%)	指標	(達成度 %)	総合評価	A	実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	経費削減のため自社にて手続きをする事業所が増えてきた。特別加入等事務組合のメリットを説明し少しでも委託事業所数を増やしていきたい。	
雇用促進事業	優良従業員表彰事業は、永年にわたり地域産業に貢献した企業の従業員が勤務成績が優秀であって他の模範となる者を表彰し、今後一層の勤務意欲高揚に資する目的で実施するものである。ひいては、事業所の発展につながるものである。	勤労感謝の日に合わせて、その前後の日程で表彰式を実施する。 表彰内容 知事賞：1名 市長賞：6名 市議会議長賞：6名 県連会長賞：4名 県連支部長賞：2名 商工会長賞：27名	小規模事業者	指標	被表彰者数 (達成度 115.0%)	指標	(達成度 %)	総合評価	A	実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	従業員への定着や勤労意欲の向上を図るために今後も継続して実施する。	
部会・委員会	商業・工業・建設業などの各部会活動を、参加企業の発展に資することを目標とする。	1 幹事会・委員会開催回数/延出席者数 工業部会 9回/69人 建設業部会 9回/82人 商業部会 5回/57人	小規模事業者	指標	参加延べ人数 (達成度 94.5%)	指標	(達成度 %)	総合評価	B	実施評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	今後も、商工業者にとって有益となる事業を計画する。	
青年部・女性部	商工業者の後継者である青年、若手経営者及び商工業に携わる女性に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上を図るための講習会や研修会を開催し、事業所の発展と振興を図る。また地域の発展に寄与する。	青年部 研修会 1回 14名 講習会 3回 55名 活動推進研修会 1回 4名 女性部 研修会・講習会 4回 75名 環境美化事業 3回 27名 地域振興事業 2回 16名	小規模事業者	指標	青年部講習会等の参加人数 (達成度 107.4%)	指標	女性部講習会等の参加人数 (達成度 90.8%)	総合評価	A	実施評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	研修事業を通じて、青年部員及び女性部員の資質向上を図ることができた。また、地域振興事業等の実施により、地域社会の発展に寄与し、更には、部員間の団結を深められた。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 尾張旭市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価																
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等	備考			
				指標	（達成度 99.7 %）		指標	（達成度 %）		総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足	目標①	
商店街・街づくり事業	地域の環境整備の一環として、市内の発展会等へ防犯の方に快適なショッピング環境を提供し、魅力ある街づくり、商業環境づくりを促進し活性化を図る。	街路灯管理 約500本の街路灯を維持管理し、店舗の広告宣伝及びライトアップによる防犯等地域貢献としての事業を実施した。 通電基数314基を維持した。	小規模事業者	指標	街路灯設置基数 (通電基数) (達成度 99.7 %)		指標	(達成度 %)								得られた効果	総合評価			A
祭典事業	市民祭等を開催することにより、その集客力を活かして地域の経済活動を促進し、販売市への来店により、小規模事業者に対し売上増加を見込め、市内事業所への広告宣伝PRに役立てることによって地域の総合的な振興を図ることを目的とする。	市民祭実施に伴う協賛及び販売市への出店(10/12(土)・13(日))【中止】 ・特別協賛 ……16企業 ・広告協賛 ……58企業 ・販売市(食の広場) ……21企業 ・販売市(買物広場) ……11企業 ・販売市(グルメコーナー) ……5企業	小規模事業者	指標	協賛数 (達成度 105.7 %)		指標	出店者数 (達成度 82.2 %)		特別協賛及び広告協賛することにより、一般市民への周知を図り事業所PRに繋がった。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	現行どおり	積極的に協賛していただけるよう内容を工夫し協賛数を増やしていきたい。
産業活性化事業	尾張旭市内の企業を中心として、「特産品」と「商品開発」の研究を行って、新たな市場へチャレンジすることによって、企業の発展に役立てる。また、観光協会とタイアップして、地域の産業と観光産業の活性化を図る。また、観光振興事業として、市を訪れる観光客、市民の土産品の需要に応えるため、特産品を認定することにより観光産業に寄与する。	平成30年度末に行われた特産品審査会において、認定された特産品に対し、今回認定期間(H31.4.1~R3.3.31)中に積極的に販売及びPRを行っている。 ・PR方法：イベント等でのリーフレット配布、ホームページ、広報紙への掲載 ・販売方法：イベントなどでの出店 特産品推奨品目数：36	小規模事業者	指標	特産認定数 (達成度 94.7 %)		指標	(達成度 %)		・市内外に対し、特産品の販路を拡大することで、売上げアップと利益還元が繋がった。 ・特産品を広くPRすることで、地域やお店の知名度を上げることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	現行どおり	観光協会と連携し、特産品ガイドを作成・配布し幅広くPR活動をしていきたい。
情報化推進事業	毎月異なる施策記事及び商工会内部の部会活動記事を中心として商工会だよりに掲載する。施策記事に関しては経営に役立て、部会活動記事については部会等の魅力を知っていただく。また事業所のPRや、地域振興事業に関する記事も掲載する。	・商工会だより毎月発行・・・毎月異なる施策記事を掲載	小規模事業者	指標	発行回数 (達成度 100.0 %)		指標	(達成度 %)		各種施策や補助金などについて会員事業所へ積極的に情報提供ができた。 また、商工会の事業などについても幅広く知ってもらえた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	現行どおり	現行どおり小規模事業者に役立つ情報を提供していく。必要に応じてページ配分を変更して、情報提供する。
若手後継者等育成事業	(1) 経営者講習会 小規模事業者は、社会環境・経済環境が変動する中で幾多の困難に直面することが想定されます。そこで実際に事業承継、事業拡大、倒産を経験し、現在中小企業診断士として活躍されている方に講演をしていただき、今後の経営に活かしていただくことを目的とする。 (2) 商工会青年部全国大会参加 全国各地から青年部員が一堂に会し、各ブロックから勝ち上がった代表者による主張発表大会などを聞くことにより、今後の青年部活動の参考にし、青年部活動の活性化と部員の成長に役立てる事を目的とする。 (3) 青年部資質向上勉強会 取引先や協力業者、顧客といった事業経営に必要な対人関係を築く上で、大切にすべきビジネスマナーを学び、今後の事業発展、資質向上を図ることを目的とする。	(1) 経営者講習会 講師：五島 宏明 氏 開催日：令和元年7月17日 参加人数：23名 対象者：市内若手後継者、経営者等 (2) 第21回商工会青年部全国大会への参加 開催日：令和元年12月4日(水)・5日(木) 開催場所：名古屋国際会議場(名古屋市熱田区熱田西町1番1号) 参加者：青年部長1名、副部長2名 (3) 青年部資質向上勉強会 講師：石黒 真栄 氏 開催日：令和元年9月9日 参加人数：21名 対象者：青年部員	小規模事業者	指標	(1) 講習会参加者数 (達成度 73.3 %)		指標	研修会・セミナー参加者満足度 目標値(満足・どちらかといえば満足)の割合 (達成度 120.9 %)		(1) 三代目社長として会社を承継、発展、倒産、自己破産を経験した講師から倒産させないためにやるべきことや、必要な知識を学んだ。決算書から読み取れることや事業の立て直しについても学ぶことができた。 (2) 全国の青年部員の活躍を見ることができ、青年部員としての資質向上や意識を改めることができた。 (3) 事業経営に必要な対人関係を築く上で、今さら聞けない基本マナーや、若手経営者・後継者としてふさわしい振る舞いを身に付けることを目的とし、ビジネスマナーを学んだ。お辞儀や言葉遣い、名刺交換の仕方など日常的に行うことに対しても改めて学び直す良い機会となった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	下げる	青年部、女性部のみならず、区内若手後継者、経営者の資質向上となる講習会を企画していく。
創業支援事業	創業予定者に対してより専門的な支援を行うため、尾張旭市、瀬戸信用金庫、日本政策金融公庫と連携して支援体制を構築し、支援を行っている。	・ワンストップ相談窓口の開設 創業予定者相談回数 26件 ・創業セミナーの開催 5回 18名(経営、財務、人材育成、販路開拓)	創業予定者	指標	ワンストップ相談窓口相談回数 (達成度 520.0 %)		指標	創業セミナー参加者数 (達成度 360.0 %)		創業を支援する上で、他の支援機関と支援ネットワークを構築し、効果的な支援を行うことができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	現行どおり	創業者の相談やセミナー後のフォローアップができるような体制と仕組みづくりが必要。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。